

平成29年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	茶業研究所機能強化事業費												
予算額	323,000千円	新規・継続の別	継 続										
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>企業・大学等との連携・交流や機能強化を図るため、茶業研究所のリニューアルを実施</p> <p>2 機能強化の概要</p> <p>これまでの新品種育成やお茶の栽培・製造に関する研究に加え、以下の3つの機能強化を実現するために必要な施設・設備を整備</p> <p>① 食品加工や機能性を生かした商品開発 ② 科学的根拠に基づく宇治茶の価値・魅力の発信 ③ 高い経営力と情報発信力を備えた茶業の担い手の育成</p> <p>3 建物の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>整備場所</td> <td>現在地（宇治市白川中の藪1番地）</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>45,474㎡（うち建物敷地4,700㎡、試験茶園20,000㎡他）</td> </tr> <tr> <td>構造・規模</td> <td>・本館 オール府内産木材による木造（平屋）950.91㎡ ※一部、CLT（直交集成板）を採用 ・製茶棟 同 上 （平屋）668.44㎡</td> </tr> <tr> <td>施設構成</td> <td>・本館 オープンラボ、交流室・資料室、茶審査室、等 ・製茶棟 てん茶2ライン、揉み茶ライン、手揉み室、等</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>323,000千円 (²⁹～³⁰債務負担行為額 85,000千円) ※ 工期：28～30年度</td> </tr> </table>			整備場所	現在地（宇治市白川中の藪1番地）	敷地面積	45,474㎡（うち建物敷地4,700㎡、試験茶園20,000㎡他）	構造・規模	・本館 オール府内産木材による木造（平屋）950.91㎡ ※一部、CLT（直交集成板）を採用 ・製茶棟 同 上 （平屋）668.44㎡	施設構成	・本館 オープンラボ、交流室・資料室、茶審査室、等 ・製茶棟 てん茶2ライン、揉み茶ライン、手揉み室、等	事業費	323,000千円 (²⁹ ～ ³⁰ 債務負担行為額 85,000千円) ※ 工期：28～30年度
	整備場所	現在地（宇治市白川中の藪1番地）											
敷地面積	45,474㎡（うち建物敷地4,700㎡、試験茶園20,000㎡他）												
構造・規模	・本館 オール府内産木材による木造（平屋）950.91㎡ ※一部、CLT（直交集成板）を採用 ・製茶棟 同 上 （平屋）668.44㎡												
施設構成	・本館 オープンラボ、交流室・資料室、茶審査室、等 ・製茶棟 てん茶2ライン、揉み茶ライン、手揉み室、等												
事業費	323,000千円 (²⁹ ～ ³⁰ 債務負担行為額 85,000千円) ※ 工期：28～30年度												
担当課名	流通・ブランド戦略課 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4968										